

ProWebRabbit インストールガイド

このインストールガイドでは、ProWebRabbitの標準的なインストール方法について説明します。

システム構築方法の詳細な説明などについては、取扱説明書を参照してください。

ProWebRabbitの以前のバージョンからバージョンアップを行う場合には、インストール実施前にご使用の手引き『2.3 バージョンアップ時のインストール方法』および『2.4 バージョンアップ時の注意事項』を参照の上、インストール作業を行ってください。

再インストールを行う場合には、必ずバックアップを実行してから再インストール作業を実施し、データ移行作業を行ってください。(取扱説明書～設定編～『15.1 バックアップ』、『15.2 リストア』参照)

1. インストール前の準備

ProWebRabbit のインストールは WWW サーバ(Internet Information Services)およびその関連機能である ASP.NET がインストールされているマシン上で行います。WWW サーバがインストールされていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

Windows Server 2008 の場合:

サーバー マネージャで、役割として「Web サーバ(IIS)」を追加し、「Web サーバ(IIS)」の役割サービスとして「ASP.NET」、「CGI」、「IIS 6 管理互換」、「基本認証」を追加してください。

Windows Server 2003 の場合:

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」画面で「Windows コンポーネントの追加と削除」を選択します。「アプリケーションサーバ」を選択して、「詳細」ボタンを押し、「ASP.NET」と「インターネットインフォメーションサービス(IIS)」のチェックボックスをオンにして「OK」を選択し、インストールを行ってください。

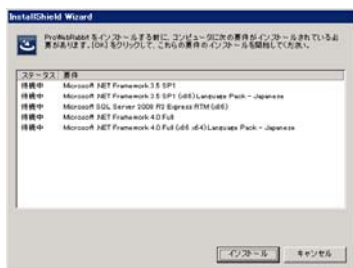
2. インストールプログラムの起動

①インストールプログラム“Setup.exe”(または、“Setup”)を起動します。CD-ROM からインストールする場合は、CD-ROMをドライブにセットすると、自動的にインストールプログラムが開始されます。(Administrator 権限のあるユーザでログオンしている必要があります。)

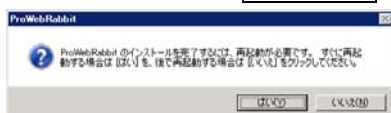
②インストール開始画面が表示されるので、内容を確認し、**インストール**を選択します。

下記コンポーネントがサーバにインストールされていない場合、自動的にインストールが行われます。

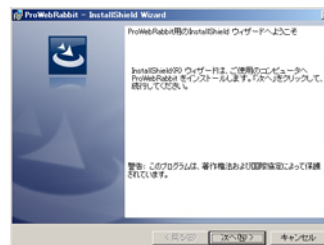
- ・Windows Installer 4.5
- ・Microsoft .NET Framework 3.5 SP1
- ・Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition
- ・Windows Imaging Component
- ・Microsoft .NET Framework 4.0



途中、コンピュータの再起動を求める画面が表示された場合は、**はい(Y)**を選択し、コンピュータを再起動します。再起動後、インストール画面が表示されますので、**インストール**を選択します。



③ProWebRabbitインストール開始の画面が表示されるので、内容を確認し、**次へ(N)>**を選択します。



3. 使用許諾契約への同意

①使用許諾書を読み、同意される場合、[使用許諾契約の条項に同意します(A)]を選択し、**次へ(N)>**を選択します。



4. 登録キーの入力

①登録キーを入力し、**次へ(N)>**を選択します。

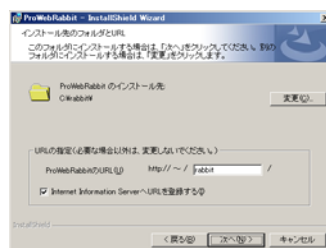
- ・パッケージ製品の場合は、製品に同梱のライセンス許可証に記載されています。
- ・ダウンロード製品の場合は、購入日よりメールにて送付されます。
- ・体験版としてインストールする場合は、登録キーの入力は不要です。



5. インストール先とURLの指定

- ①ProWebRabbitのインストール先を指定します。
- ②URLについては、通常は変更しないでください。
- ③Internet Information ServerへURLを自動登録するかどうかを選択します。通常は自動登録の状態を進めてください。

次へ(N)>を選択します。

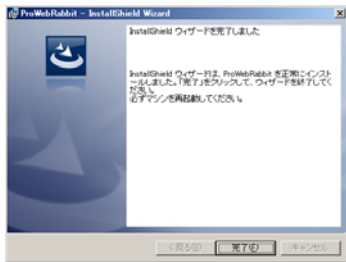


6. プログラムのインストール

- ① **インストール** を選択します。ProWebRabbit 本体と ProWebRabbit が動作に必要なファイルのコピーが開始されます。
- ② [Internet Information Server へ URL を登録する] を選択した場合は、WWW サーバへ URL の自動登録が行われます。
- ③ ProWeb データベースセットアップ画面が表示されます。
サンプルデータありで初期化する場合は、**はい(Y)** を選択します。
サンプルデータなしで初期化する場合は、**いいえ(N)** を選択します。



- ④ 処理が終了すると、インストール完了画面が表示されます。



7. システムモジュールのバージョンアップ

Windows Update を実施してください。

8. コンピュータの再起動とProWebRabbitへのログイン

コンピュータを再起動してください。

コンピュータの再起動後、WWW ブラウザより下記 URL へアクセスすることで、ProWebRabbit のトップ画面が表示されます。

[http://\(インストールサーバ名\)/rabbit/](http://(インストールサーバ名)/rabbit/) (標準インストール先の場合)

※インストール後、最初のアクセスの際、画面が表示されるまで時間がかかります。

※システム管理者としてログインするには、以下のログイン名とパスワードを入力し、ログインします。

- ログイン名: admin
- パスワード: admin

※サンプルデータありでデータベースをセットアップした場合は、次の方法で一般ユーザとしてログインできます。
トップ画面に表示される『所属』と『氏名』プルダウンメニューより、任意のユーザを選択しログインしてください。パスワードの入力は不要です。

9. DB(データベース)の自動バックアップ(推奨)

ProWebRabbit 登録データを管理する DB を1日1回バックアップすることをお勧めします。

※自動バックアップ中、WWW サーバが停止しますので、ProWebRabbit は利用できなくなります。

Windows Server 2003 の場合:

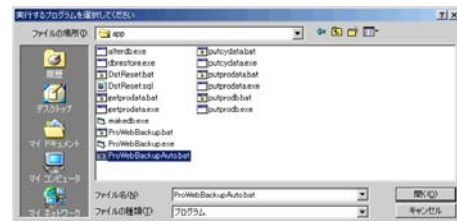
- ① スタートメニューから [設定] - [コントロールパネル] メニューを選択してコントロールパネルを表示し、[タスク] - [スケジュールされたタスクの追加] アイコンをダブルクリックします。
以下の画面が表示されるので、**次へ(N) >** をクリックします。



- ② **参照(R)...** をクリックします。



- ③ ProWebRabbitインストールフォルダ (標準C:\¥rabbit) 下 app フォルダの下の ProWebBackupAuto.bat を選択して **開(O)** をクリックします。



- ④ タスクを実行するタイミングを指定して、**次へ(N) >** をクリックします。
この例では日単位にバックアップをとります。



- ⑤ 開始時間と実行間隔、開始日を指定して **次へ(N) >** をクリックします。



⑥ Administrator 権限のあるユーザとパスワードを設定します。



⑦ **完了** をクリックします。これで完了です。



Windows Server 2008 の場合：

① スタートメニューから [管理ツール] - [タスク スケジューラ] メニューを選択してタスク スケジューラを表示し、[基本タスクの作成...] を選択します。基本タスクの作成ウィザードが起動されるので、名前を入力し、**次へ(N) >** をクリックします。



② タスク トリガで「毎日(D)」を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



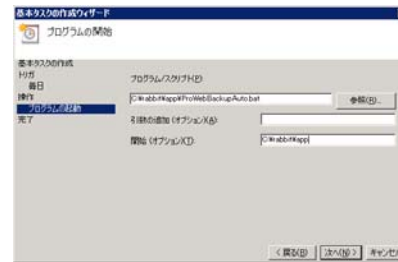
③ 開始する時刻を入力し、**次へ(N) >** をクリックします。



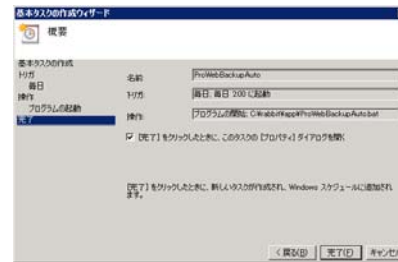
④ 操作で「プログラムの開始(I)」を指定し、**次へ(N) >** をクリックします。



⑤ **参照(R)...** ボタンにて、ProWebRabbitインストールフォルダ（標準C:\%rabbit）下appフォルダの下のProWebBackupAuto.batを選択し、「開始（オプション）(I)」にappフォルダパス（標準C:\%rabbit\app）を指定し、**次へ(N) >** をクリックします。

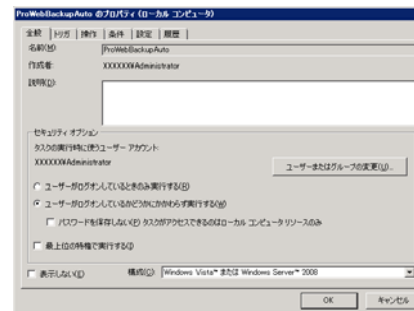


⑥ 設定内容を確認し、「完了」をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く」チェックボックスをチェックして、**完了(F)** をクリックします。



⑦ 完了後、プロパティ画面が開くので、セキュリティ オプションを「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)」に変更して、**OK** をクリックします。これで完了です。

※タスクの実行時に使うユーザーアカウントは、Administrator権限のあるユーザを設定します。変更する場合は、**ユーザーまたはグループの変更(U)** より実行してください。



以上